

# 代表質問

## 無所属の会



増田 好秀

〔一般質問形式①〕  
長友 正徳

佐直 友樹

〔一般質問形式②〕  
石原よしのり

秋本のり子

〔総括質問者〕  
越川 雅史

## 議員による パワハラ疑惑

**問** 村越市長は、令和3年8月24日の記者会見において、唐突に私の名前を挙げ、私から市職員へのパワハラ行為があったなどと発言し、同年9月定例会においても、村越市長の着任前から私のパワハラ行為がずっと存在していたといった趣旨の発言をしている。そこで、平成31年に市職員に対して実施したハラスメントに関する調査では、私からパワハラを受けたといった旨の回答は何件あったのか。また、回答結果の中に、パワハラ被害の内容として、「私本人や親族、周囲の関係者のために便宜を図るよう強要した、あるいは、特定の業者に仕事を受注させるよう不当な圧力をかけた」等の内容は含まれていたのか。

**答** 31年の調査結果では、越川市議からパワハラを受けたといった回答はなかった。また、越川市議等に対して便宜を図るよう強要されたという回答や不当な圧力をかけたという趣旨の発言をしている。



東山魁夷記念館

## 市長「私設秘書」の逮捕

いった回答や不当な圧力をかけられたといった回答もなかったと認識している。

**問** 令和3年5月24日、村越市長の私設秘書とされる人物が法務局に虚偽の書類を提出したなどとして、千葉県警に逮捕され、懲役2年、執行猶予4年の判決が言い渡された。本件については、本市も県警から任意の事情聴取を受けており、この事情聴取に関して村越市長は同年9月定例会において、「警察が本市に対し嫌がらせのような捜査を繰り返してきた」、「捜査過程で違法行為が行われた」といった趣旨の発言をしている。そこで、違法な捜査が真実であれば、事実を公表し、再発防止に努め、職員を守る必要があると考えますが、村越市長の認識を問う。

**答** 任意の聴取であるにもかかわらず長時間取り調べを受けた、書類を持っていかれたりしている。そのため、場合により国家賠償請求等しつかり対応したいと考えている。また、既に然るべきところに市長名の入った書面で抗議もしている。

## 東山魁夷記念館への日本画寄贈

**問** 令和4年1月、東山魁夷記念館に川崎麻見氏(以下、川崎氏)から多数の日本画の寄贈申し出があったとのことである。そこで、今回の寄贈作品の内容及び寄贈に至った経緯を問う。

**答** 今回寄贈予定の作品は、川崎氏本人の作品10点に加

え、東山魁夷氏の夫人である東山すみ氏の弟に当たる、川崎春彦氏の作品12点の計22点となっている。川崎氏の作品に関しては、日本美術展覧会の出品作が中心となっており、同展における特選受賞作等も含まれている。この寄贈は、記念館学芸員によるこれまでの展覧会の実績等から、川崎氏と記念館との間に築かれた信頼関係によるものと考えており、今回の寄贈は記念館にとって大変貴重な財産になると認識している。今後、東山魁夷の研究と質の高い展覧会の企画運営に加え、関係機関との関わりを大切にしながら、記念館の運営に努めていく。

## 文化芸術分野の性描写規制

**問** 市川市男女共同参画基本計画の第7次実施計画の中で、「性の商品化の根絶」という施策が挙げられているが、芸術作品等に、特に漫画、アニメ、ゲームに対する、安易な過度な規制をかけてしまうことは、「文化のまち」を標榜する市川市として、大きな問題があると考えます。そこで、文化芸術における性描写の規制について、本市の認識を問う。

**答** 文化芸術における創作物等に単に性的表現が含まれることだけを、直ちに有害物として公共の場から一律に排除したり自由な創作活動を妨げたりすることはあってはならない。同計画に定める、「性の商品化の根絶」に向けた啓発活動を推進する際は、対象となる創作物や創作活動が人権侵害に繋がるものではなく、市川市に於いて、性暴力や性犯罪等に結びつく可能性はないか等の観点から慎重かつ適切に判断することが必要と認識している。

**自由民主党**

中山 幸紀

〔総括質問者〕  
細田 伸一

〔一般質問形式②〕  
かいづ 勉

## 協議会の設置

**問** 多岐に渡る市の施策について、外部の有識者や実務経験者等を招き、様々な意見の表明や交換をする場が協議会とのことである。そこで、市民生活に大きく関わる施策について、積極的に市民の意見を取り入れる協議会を設置し、その内容

**答** 協議会を設置するかどうかは、協議会の任務内容や意見の一致を求めるといった点により判断する。また、設置基準は定めていない。また、協議会の意見等は、市の行政執行の参考とした

## ヤングケアラー

**問** 市によると、市内小中学校の児童生徒のうち、本来大人が担うべき家事や家族の世話をしている、いわゆるヤングケアラーが十数人程度いるとのことだが、高崎市と比較すると少なすぎると考える。そこで、ヤングケアラーの認知率向上に向けた市の方針を問う。

**答** ヤングケアラーを幅広く捉えて、子どもの困り感

## 就学援助制度の利用促進

**問** 令和2年度決算における、本市の就学援助制度の認定率は、8.3%とのことだが、国が同年に実施した調査では、子どもの貧困率が13.5%であったこと

**答** 同制度の周知については、自身が同制度の対象者か不明な場合には、学校や教育委員会へ相談してもらえよう、丁寧な周知に努めていく。また、認定基準の引き上げに関しては、社会状況の変化に対応し、必要な人へ確実に援助が行き届くことが重要と考えており、今後は、本市における同制度の制度設計についてより望ましい方法があるかどうか、調査研究していく。

## 須和田遺跡

**問** 須和田公園は、市の北西部の高台に位置する公園で、園内に県の指定史跡で多くの堅穴建物があったことと知られる須和田遺跡がある。かつて園内に堅穴住居を模した茅葺きの復元家屋があったが焼失し、現在は基礎とフェンスのみが残存している。近々それらを撤去することだが、こ



須和田公園内の復元家屋跡地

れまでの経緯と今後の対応について市の見解を問う。

**答** 復元家屋跡地については、地元自治会から再建の

※代表質問を行った各党派の名称及び所属議員は、代表質問実施時点のものとしています。